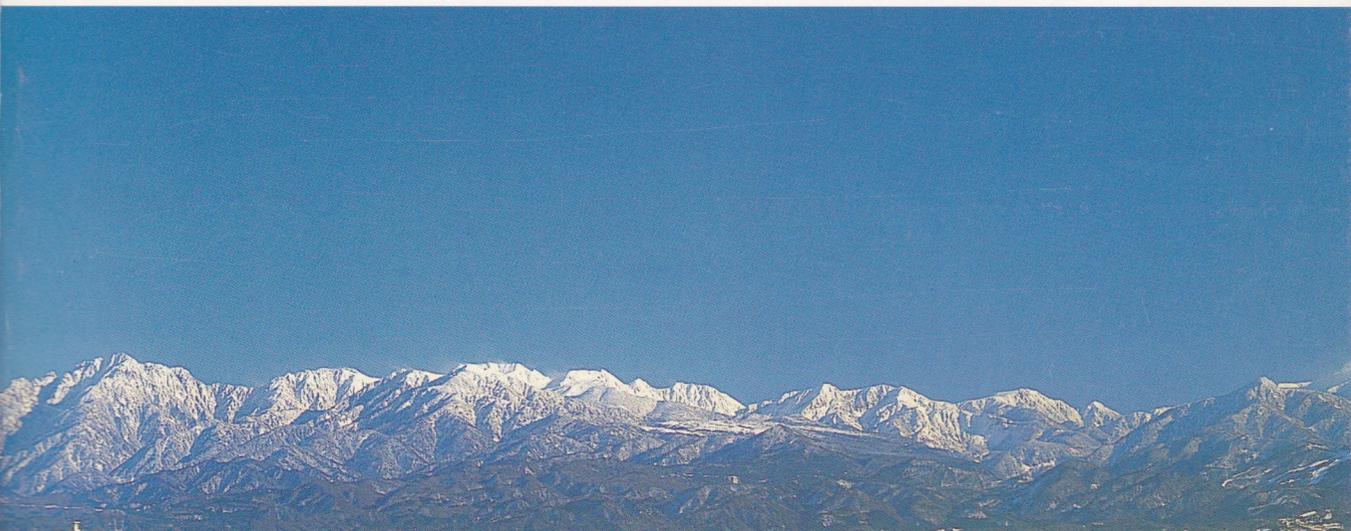


# 第10回 日本腰痛学会



会 期：平成14年11月23日(土・祝)午後, 24日(日)午前  
会 場：富山国際会議場

## 第10回日本腰痛学会開催にあたって

会長 大成 清一郎

第10回日本腰痛学会は日本臨床整形外科医会（JCOA）が主催させていただきます。JCOAにとって極めて光栄なことであり、学術団体として再認識して頂ける好機と考えております。関係各位の御理解と御支援に感謝を申し上げます。

本学会では腰痛のプライマリケアの充実を目指します。多くのJCOA会員は腰痛のプライマリケアを担当しておりますが、近年、他科や医業類似業者との間に無益な競合、混乱が目立ってきております。一方、学術的にはEBMの導入によって、多面的、集学的アプローチが進み、プライマリケアのレベルが格段にアップし、腰痛治療に多くの選択肢を提供できるようになりました。今こそ腰痛治療の担い手は整形外科医であることを強くアピールし、国民の共感を呼ぶPRを進めたい。

学会ではシンポジウム3題、教育講演及び特別講演を企画しました。古くからの課題もありましたが、レベルアップしたプライマリケアを中心に有意義な論議が期待されます。高齢化社会を迎え健康寿命が重視されてきました。これには生活機能の維持が不可欠です。きめの細かい、各種の対策を提供し、高齢者に満足して頂かねばなりません。特別講演の神経ブロック療法の有用性は周知されているにも拘わらず、十分に実践されておられません。今春の健保改正で打撃を受けた整形外科医にとって有効な治療法として活用したいものです。

一般演題も50余題応募して頂き、ありがとうございました。漸く学会の準備が整いました。多数会員の参加をお待ち申し上げます。今後もJCOAが本学会の活性化に寄与することを申し上げます。ありがとうございました。

「運動器の10年」運動として、市民公開講座で腰痛制圧を市民にアピールします。

2002年11月